

声明

私たちはロシアによるウクライナ侵攻を断じて許しません
日本の核武装と憲法9条改悪の策動を許しません

2022年3月4日
城南保健生活協同組合
理事長 植田 栄一

2022年2月24日、ロシアはウクライナに対して一方的に軍事侵攻を行いました。ウクライナの首都キエフを含む複数の都市の、民間施設をもミサイルで攻撃しました。すでに多くの死傷者が出ており、民間人の死者も多数報告されています。プーチン大統領は、戦火に逃げまどい、国を追われて途方に暮れる何の罪もない市民たち、不安に泣き震える子どもたちがいることに思いを巡らせることがなぜできないのでしょうか。

城南保健生活協同組合は、「誰もが安心して住みつづけられるまちづくり」を大きな柱とし、「平和でなければ健康はありえない」という思いで日々の活動に取り組んでいます。その立場からロシアによるウクライナ侵攻に対して満身の怒りを込めて、断固として強く強く抗議します。

プーチン大統領は「ロシアは世界で最も強力な核保有国の一つだ。わが国を攻撃すれば壊滅し、悲惨な結果になる」と発言しました。この発言は核兵器による威嚇を禁止している核兵器禁止条約を真っ向から否定する態度です。このような発言をする指導者の国が、国連の常任理事国であることは非常に危険です。万が一、核兵器が使用されれば、地球と人類全体に壊滅的影響を与えることは明白です。広島、長崎の惨禍を経験し、憲法9条を持つ日本国民としても決して許すことはできません。私たちは、すべての核兵器保有国に対して核兵器使用計画、実戦配備、演習、威嚇について、これらの動きを行わないこと、日本政府に対しては核兵器禁止条約の批准を強く求めます。

また、この混乱を利用して日本の核武装や敵基地先制攻撃の容認と平和憲法への攻撃を目論む勢力の策動を断固として許してはなりません。私たちはロシアの国内外の反戦平和を求める人びとと連帯し、今回の侵攻はもちろんのこと、あらゆる戦争をすすめる動きと、国内の平和憲法改悪策動勢力と断固としてたたかい続けることを表明します。

以上